



2019 年度(平成 31 年度)

修士課程募集要項

(外国人留学生特別選抜—指定校推薦)

九州大学
大学院経済学府

経済工学専攻
経済システム専攻

重要なお知らせ

- この募集要項は外国人留学生特別選抜の中の「指定校推薦」を希望する志願者だけに適用される専用の要項である。
- 2019年度入学試験における「指定校」は、以下の通りとする。
釜山大学校

中国人民大学（経済学院，財政金融学院，農業与農村発展学院，商学院，信息学院，統計学院，環境学院，労働人事学院）
南京大学 商学院
東北大学（工商管理学院）
国立台湾大学（社会科学学院）
フランクフルト大学(Johann Wolfgang Goethe-University, Frankfurt)
ランス・マネジメントスクール(Reims Management School)
マンチェスター大学(The University of Manchester)
チュラロンコン大学(Chulalongkorn University)
- 外国人留学生特別選抜(指定校推薦)に出願する者は、九州大学大学院経済学府において博士の学位取得を目指すことが強く望まれる。

出願資格

外国人留学生特別選抜(指定校推薦)に出願する者は、以下の1~3の要件を全て満たしていること。

1. 九州大学大学院経済学府長から書面による正式な応募依頼のあった「指定校」(2019年度は上記9校)の該当学部教員2名による推薦があること。
2. 九州大学大学院経済学府の講義を受講するに十分な日本語能力を有すること。
3. 以下の(1)~(2)の何れかに該当していること。
 - (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (2) 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本学府教授会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者

* 上記3の(2)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行うので、次の書類を2018年6月29日(金)から7月4日(水)までに九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係に提出すること；教員2名による推薦状、履歴書、卒業証明書、成績証明書、その他参考書類。(※出願書類の様式については次ページ参照)

必要とされる日本語能力

1. 必要な日本語能力の水準 —— 九州大学大学院経済学府では、ほとんどの講義が日本語で行われているため、出願者は、そうした講義を理解するのに十分な日本語能力を有することが必要である。
2. 1の日本語能力を確認するため、指定校教員による推薦状2通のうち少なくとも1通において、出願者の日本語能力についての記載が求められる。
3. 2で示した要件の他に、日本語能力試験のスコア、または信頼できる機関が実施する日本語能力に関する試験のスコア等の書類を提出すること。

出願期間

出願に必要な全ての書類は2018年8月8日(水)の17時(日本時間)までに、九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係に必着のこと。

出願書類

出願時に提出すべき書類は以下の通り(選考は*印を付した書類を中心に行う)

書類	内容	様式および枚数
教員2名による推薦状(各1通)*	出願者の出身大学(学部)の教員が作成する推薦状には、とりわけ以下の項目が記載されていることを要望する。 1. 出願者の総合的評価と推薦理由 2. 出願者が九州大学大学院経済学府で研究を遂行する際の適性 3. 出願者が日本語のゼミナール・講義に出席し、日本語で論文を執筆するための日本語能力(推薦状2通のうち少なくとも1通はこの日本語能力に関する評価が記載されていること)	九州大学大学院経済学府は、本学府の学府長が公式に本要項を送付した指定校の学部教員(教授)または当該教授が指定した同一学部の教員が、推薦状に署名し、密封のうえ提出されることを要望する。 長さは、日本語で約2,400字、英語で約880語程度。
入学願書	所定の様式に記入すること。	学歴に関しては小学校入学から現在までの全てを示すこと。 各項目の日付が不明な場合は、月の表記だけでもよい。 (日本語又は英語により記入)
志望動機	九州大学大学院経済学府を志望する理由	長さは、日本語で約1,200字、英語で約440語程度。

大学院での研究計画*	九州大学大学院経済学府における研究計画について、(a)研究分野、(b)研究目標、(c)研究方法、(d)研究の意義と期待される成果、の順に記すこと。	長さは、日本語で約 6,000 字、英語で約 2,200 語程度。
希望職種	九州大学大学院経済学府で得られた知識をもとに出願者が希望する将来の職種について記すこと。	長さは、日本語で約 1,200 字、英語で約 440 語程度。
写真 2 枚	上半身・正面・脱帽で 3 か月以内に撮影されたもの。	縦 4.0 cm × 横 3.0 cm
卒業(見込)証明書	出身大学(学部)が作成したもの。	出身大学が公式に発行したもの。 (日本語又は英語)
成績証明書*	出身大学(学部)が作成したもの。	出身大学が公式に発行したもの。 (日本語又は英語)
日本語能力証明書類	日本語能力試験または九州大学が認める信頼できる機関が実施した正式の試験のスコア	スコアまたはそれに準ずる書類(コピーでも可)

出願手続

1. 出願書類は、書留またはそれに準ずる方法にて郵送すること。
2. 出願書類の氏名欄には、略称や愛称を用いず、パスポートに記載されている通りに記入すること。
3. 出願後は、出願書類等の変更、返却及び検定料の払い戻しはできない。
4. 出願書類等の送付先は、下記の住所とする。
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1
九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係

入学検定料

30,000 円（支払い方法は末尾参照のこと。）

e-支払いサイト(<https://e-shiharai.net/>)へ事前申込の上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカードにより支払うこと(海外からの支払いの場合は、②のみ)。支払い方法の詳細は、末尾ページの「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法」を参照すること。なお、振込手数料は、志願者が負担することとなる。

【支払期間】2018年7月25日(水)～8月8日(水)

※出願期間内に支払の証明が提出できるように支払うこと。

- ① コンビニエンスストア支払
コンビニエンスストアで受領した「入学検定料・選考料・取扱明細書」を出願書類と共に提出すること。
- ② クレジットカード支払
プリントアウトした「受付完了画面」を出願書類と共に提出すること。

(お願い)

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」または「よく

ある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.htm1>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

選抜方法

1. 出願書類のうち特に*マークが付されたものを中心に、経済学府教授会が審査を行う。
2. 選考結果については、2018年10月末までに出願者に郵便にて直接通知を行う。

入学手続および授業料

合格者は、所定の期日までに以下の入学手続きを郵送等により完了すること。期限内に手続きが完了しない場合は、入学を辞退したものとみなされるので注意すること。

- (1) 入学手続期間：2019年3月1日(金)～6日(水) (予定)
 - (2) 入学手続の際に納付する経費等
 - (a) 入学料 282,000円 (予定)
 - (b) 授業料 (前期分)267,900円 (年額535,800円)(予定)
- * 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

ビザ取得のための手続

九州大学は、合格者によるビザ取得のために必要な協力を行うが、志願者は、十分な時間的余裕をもって、かつ自らの負担で、ビザ申請手続きを開始すること。

主な連絡先等

1. 出願書類等は全て以下の宛先に送付すること。

812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1
九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係

2. 電話番号 (貝塚地区事務部教務課学生第四係)
+81(0)92-642-2439 (日本語のみ対応)

3. e-mail (貝塚地区事務部教務課学生第四係)
kagakusei4*jimu.kyushu-u.ac.jp (日本語のみ対応) (*を@に置き換えてください。)

4. 英語での問合せ先
Associate Professor International Student Officer, e-mail: chu*econ.kyushu-u.ac.jp
Meifen Chu(儲 梅芬 留学生担当講師)

(*を@に置き換えてください。)

5. 九州大学 ホームページ
<http://www.kyushu-u.ac.jp/>
6. 九州大学 大学院経済学府 ホームページ
<http://www.econ.kyushu-u.ac.jp/>

奨学金

九州大学には、他の国立大学法人(旧国立)の大学と同様に、留学生向けの独自の包括的な奨学金制度はないものの、九州大学で学ぶ留学生は、日本国政府(文部科学省)の奨学金および私費外国人留学生向けの約30の民間奨学金への申請が可能である。そうした奨学金の多くは、大学(学府)からの推薦によって取得が可能となる。奨学金の申請に関しては、入学後により詳しい情報が入手可能である。

しかしながら、こうした奨学金の取得を前提に留学計画を立てることは現実的ではない。九州大学で学ぶ留学生の人数に比べて奨学金の支給枠は極めて限られており、これらの奨学金への申請は、九州大学の全ての学府から行われるからである。そのため奨学生の選考は、公正に行われるものの、極めて競争的にならざるを得ない。九州大学における奨学金取得のための情報は、九州大学外国人留学生・研究者サポートセンターのホームページ「外国人留学生向け情報」にて入手できるので参照されたい。 <http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/scholarship/view/list.php>

九州大学大学院経済学府では、外国人留学生特別選抜(指定校推薦)の入学試験を最も優秀な成績で合格した院生のために「九州大学経済学部国際学術交流振興基金」から特別奨学金枠を確保している。従って、本奨学金の受給を認められた院生には、2019年4月から2021年3月までの2年間にわたり、月3万円が支給される。

この特別奨学金枠の他にも、九州大学大学院経済学府に学ぶ私費留学生の約25%が月20,000～70,000円の奨学金の支給を受けている。しかしながら、残りの75%は奨学金の支給を受けていない。また残念ながら修士課程1年次の大学院生が支給を受ける機会は限られている。

そのため、九州大学で研究を行おうとする場合には、資金的な困難に直面しないよう、事前に十分な準備を行うことが求められる。大学院生はその時間の大部分を研究に費やす必要があり、また留学生がアルバイトなどを行うことができる時間にも上限が課されている。

住宅その他の生活費に関する情報

九州大学は、箱崎および伊都キャンパスに通学する留学生のための宿舎を箱崎地区/伊都地区に運営している。【 <http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/supportcenter/housing> 】

しかしながら、部屋数には限りがあるため全ての入居希望にそえる状況にはない。また同会館の入居期間も、1か月から1年程度と限りがあるため、多くの留学生は賃貸アパートを自ら探す必要がある。

不要なトラブルを回避するために、留学予定者は、日本ではアパートの賃貸の際に、保証人を立てる必要があること、また家賃の最大6か月分に相当する資金——これには家主への支払、不動産業者への仲介料、敷金(deposit)などが含まれ、退去時に戻ってくるのは敷金の一部のみ——を支払う慣習があるということを、理解しておく必要がある。

留学生は、こうした契約の際に保証人となる日本人を探すことが困難である場合が多い。こうした困難を軽減するため、福岡地域には「留学生住宅総合補償制度」がある。これは、留学生がアパートを借りたいが保証人が見つからないときに、不動産業者がこの「留学生住宅総合補償制度」に登録し

ていれば、「(財)福岡国際交流協会」などの地域国際化協会が連帯保証を行うという制度である。本制度については、入学後に詳しい案内が入手可能である。

九州大学に在学する留学生の生活費には、家賃や食費などから生じる個人差がある。参考までに、留学生が通常の水準の生活をするための月当たりの費用(授業料を除く)を掲げるなら、おおよそ以下のとおりとなっている。

住居	30,000 ～ 50,000 円
食費	40,000 ～ 45,000 円
勉学費(本代等)	10,000 ～ 20,000 円
その他	10,000 ～ 15,000 円
合計	90,000 ～ 130,000 円

奨学金の項でも指摘したとおり、こうした生活費の全てを、奨学金もしくはアルバイトで賄おうとするには無理がある。そのため、毎日の生活費、家賃、授業料(上述)等のための資金を事前に十分に確保しておく必要がある。